

メキシコ

San Fernando JAS

サンフェルナンド有機JAS



産地情報

国名：メキシコ合衆国

地区：チアパス州

サンフェルナンド地域

標高：1,000-1,800m

土壌：肥沃な火山灰質

雨量：1,200~1,500mm

商品詳細

品種：アラビカ

麻袋規格：30kg

収穫期：12月～3月

スクリーン：18up

認証：有機JAS

収穫：手摘み

(ハンドピック)

精製：ウォッシュド

(水洗式)



メキシコは、北米大陸南部に位置する32の州から構成される合衆国。日本の国土面積の5倍ほどにもなる広大な国土の中で、多種多様な文化、伝統、そして歴史的背景のもとで人々が営みを続けている。

南部チアパス州では農業従事者が多く暮らし、そのおよそ60%がコーヒー生産に携わっていた。そして彼らのような零細農民は、80年代の緑の革命から続く90年代のNAFTA発効によるグローバル化の影響により、最も困難に陥った人々でもある。

緑の革命により先進国からメキシコ国内に流入した農薬や化学肥料、そして大量生産を前提とした作物の種子により、農地の荒廃は進み、多くの零細農民が薬害に倒れ、国内農業の弱体化が進んだ。

さらに94年に発効された北米自由貿易協定（NAFTA）により米国から大量生産された安価な農作物が流入し、都市部の富裕層と貧困にあえぐ農民たちとの格差に拍車をかけた。

そのような歴史背景の中で、健全な農業と安心安全な食、そして何よりも彼ら自身が生き残るために農民たちが立ち上がり産消提携で推進されたのが有機農業運動である。

1984年、チアパスのとある農村サンフェルナンドで設立されたサンフェルナンド生産者協同組合は有機コーヒーの生産を通して、数多くの理不尽を乗り越えてきた組合のひとつである。先住民も多く所属するこの組合では、伝統的で健全な有機農業でコーヒーを生産し続け、今も誇り高い農民としてこの土地を守り続けている。

彼ら零細生産者とともに未来を歩むために私たちはこの地での取り組みを続けていく。

